高校留学をお考えの生徒の皆さんへ

JAPANESE

ニュージーランド留学

NZQA

NEW ZEALAND QUALIFICATIONS AUTHORITY
MANA TOHU MĀTAURANGA O AOTEAROA

New Zealand Government

ニュージーランドの学校生活へようこそ

ウェブサイト: www.nzqa.govt.nz/studying-in-new-zealand

写真提供(一部) TOTALLY WELLINGTON

ニュージーランドは、高校留学に最適な国です。

常に英語の環境にある学校では、ニュージーランド人はもとより、様々な国からの留学生と机を並べ、あらゆる学びの機会に積極的に参加するよう指導を受けます。

ニュージーランドの学校では、生徒が手厚いサポートを受けられる学習環境を提供しています。 また、クラスの生徒数が比較的少人数のため、フレンドリーで思いやりにあふれ、かつ安全な環境で、生徒一人ひとりがきめ細かな指導を受けられます。 様々な国の文化に関心の高いニュージーランド人のクラスメートと学校生活を共にすることで、生涯続く友情の輪を育めます。

世界トップクラスの施設やリソースと教師陣の上に成り立つニュージーランドの教育制度でなら、将来のキャリアや現代生活に必須のスキルや知識が身に付きます。

高校は通常5年制で、13歳から18歳までの生徒が学びます。 ニュージーランドの高校は公立校が大半を占め、国家カリキュラムに沿った教育を行っています。留学生は通常同年齢の生徒とNCEAを始めますが、どのレベルで開始するかについては、生徒の学歴や英語の能力も考慮され、各学校で決定します。

ニュージーランドの高校では、国内はもとより国際的に認められている資格を取得できます。高校で取得できる国家資格については、政府と教育専門機関が監査を行っています。

ニュージーランドの教育制度は世界トップクラスであると認められています。 経済協力開発機構（OECD）では、「生徒の学習到達度調査（PISA）」を実施し、世界各地の70を超える国々で十代の生徒を対象に学習到達度の比較調査を行っていますが、ニュージーランドはこの調査の全分野において平均を上回っており、特に高得点者は世界各国の最上位グループと肩を並べています。

National Certificates of Educational Achievement (NCEA)

ニュージーランドの高校に在籍する生徒が取得する資格の中心は、全国統一の高校教育認定資格である『National Certificates of Educational Achievement (NCEA)』です。ニュージーランド国内で、あるいは別の国で進学する際には、NCEAは入学要件の一部として通用するので安心です。

NCEAは、レベル1、2、3の3段階で取得でき、通常、NCEAレベル1を11年生（15歳）、レベル2を12年生（16歳）、レベル3を13年生（17～18歳）で取得します。

NCEAは非常に柔軟な資格制度で、各生徒の能力や関心のある科目に合わせて履修することができます。また、非常に得意な科目の場合は、上の学年のレベルを勉強できる場合もあります。例えば、レベル2を勉強している生徒で、数学が非常に良くできる場合は、レベル3を勉強することも可能です。

留学体験談 大塚あかりさんは、13年生の時に留学し、野外教育、統計、微積分、メディア、ESOLの各科目でNCEAレベル3を終了しました。現在はニュージーランドの大学で商学部の2年生に在籍し、大学の勉強のかたわら、ニュージーランドの友人たちを相手に英語の勉強を続けています。

「NCEAのとても優れている点は、自分の現在の関心や能力に応じて科目を選択するよう学校で勧めてもらえるところです。生徒はそのおかげで学力を最大限に伸ばすことができ、さらに将来希望するキャリアに役立つような科目を勉強できます。」「NCEAの成績は学内評価と学外の試験に分かれているので、生徒は1年を通してこつこつと勉強を続けることになり、とても効果的に勉強ができると思います。」「良い成績を取りたいと思ったら、学年末の試験と同様に授業中の課題やテストも一つひとつ一生懸命にやるでしょう。」「クラスメートも先生方も、全員が親身になって支えてくれたのは本当に有難かったです。また、学校に温かく受け入れてくれる雰囲気があったのは、快適で順調な留学生活を送る上で、とても重要な要素だと思います。」

幅広い履修科目から選択できるNCEA

学校により履修科目は異なりますが、生徒は毎年40以上の科目から希望の科目を選択します。11年生では、多様な科目を選択するのが普通で、英語、数学、科学を中心に、その他2、3科目を選ぶことになるでしょう。12年生と13年生では、将来の進学や就職の際にどんな分野の勉強が必要となるかを考えて科目を決定します。

もし将来特定の仕事に就きたいと考えている場合は、その仕事に適した役立つ科目を見つけることから始めるとよいでしょう。また、進学を考えている大学や専門学校、その他の私立高等教育機関で、どのような科目を履修する必要があるかを調べた上で、選択科目を決定します。

NCEAのもとでは、各学校が生徒のニーズに合った学習プログラムを開発できます。そして教育の結果各生徒が身に付けた技能や知識を、一定の基準と比較して評価します。一般的に、生徒は学内評価（各学校内で作成・採点される課題やテスト）と学外評価（ニュージーランド資格庁NZQAにより作成・採点される学年末試験）の組み合わせにより評価されます。そしてNZQAでは、ニュージーランドのすべての高校でこの評価が公正に行われているかをチェックします。

留学体験談 現在13年生の本田麻衣さんは、地理、日本語、食品・服飾技術、統計、微積分の各科目でNCEAレベル3を勉強しており、このままニュージーランドの大学に進学する予定です。

「学内評価と学外評価があるのはとてもいいと思います。」「学校の友だちも先生方もフレンドリーで親切だし、困ったときには力になってくれます。それに学校も大き過ぎず、居心地がいいです。」

NCEAでの成績優秀者

NCEAでは、各レベルの成績優秀者にMerit（良）やExcellence（優）を与えて表彰します。また科目毎でも、成績優秀な生徒にはMeritやExcellenceの成績が与えられます。

MeritやExcellenceの成績は大学の各種履修プログラムへの入学時や就職時に有利となります。

留学体験談 廣内美咲さんは現在13年生で、英語、統計、微積分、生物、化学を勉強しています。将来はニュージーランドで看護学を専攻するか、オーストラリアまたは日本の大学への進学も考えています。

「NCEAでは、上を目指して、できるだけいい成績を取れるように頑張ろうという気構えができます。もうちょっと努力を重ねることでMeritやExcellenceがもらえ、こつこつとためた単位が積み重なって毎年学年末には大きな成果となります。」「自分の力が伸びているのが実感できます。こちらで勉強を始めたばかりの頃は、合格して単位をもらうのが精いっぱいでしたが、翌年にはMeritももらえるようになりました。そして今年は既に、去年一年かけてもらったのと同じ数のExcellenceをもらっています。」「先生方や学校の皆がここでの留学生活に早く馴染めるよう気遣ってくれました。新しい友人も何人もできて、わからない時は頼りにできます。自信もつき、英語力も成績も伸びました。」

その他の認定資格

ニュージーランドの大学入学要件 (University Entrance)は、ニュージーランドの大学に入学願書を提出する際必要となる最低限の要件です。大学入学要件を満たすには、認定されている科目の中から所定の単位を取得するとともに、言語の読み書き能力と計算能力において一定の基準に達していなければなりません。

大学入学要件として認定科目については、NZQAウェブサイトwww.nzqa.govt.nz/UEにある一覧をご覧ください。

校内で上位の生徒は、学年末にニュージーランド奨学金試験を受けるよう勧められます。試験範囲はNCEAレベル3と同一ですが、抜群に高い問題解決能力が求められます。

難度の高い問題で高いレベルの思考能力が要求されるニュージーランド奨学金試験は、国内はもとより国際的にも高く評価されています。

高校卒業後に役立つNCEA

NCEA取得のために高校で勉強する科目は、ニュージーランド国内およびその他の国の大学を始めとする高等教育機関への入学に適したものでなければなりません。科目の選択については、先生と相談の上決めることができます。詳しい情報はこちらをご覧ください: www.nzqa.govt.nz/ncea

NCEAは高校修了を証する国家の認定資格であり、海外でも広く認められています。NCEAでの好成績は就職の際にも有利であるほか、ニュージーランド国内および海外の大学の入学選考時にも考慮されます。また、第三者機関の研究によると、NCEAの成績が良かった生徒は大学の1年次も良い成績を修められる傾向があります。

イギリスのオックスフォード大学やアメリカのハーバード大学を始めとする名門大学も、ニュージーランドの大学要件を満たし、NCEAレベル3でExcellenceの成績を取った生徒の願書を受け入れています。

また、ニュージーランドはタイやドイツと単位互換制度があり、NCEA資格を持つ生徒の入学が許可されます。このように、NCEAレベル3を取得した後は、世界中の大学に進学できるチャンスがあるのです。

留学体験談 現在11年生の藤田紗希さんは、中国語、会計、材料技術、科学、数学の各科目でNCEAレベル2を学んでいます。将来は日本の大学で会計学とビジネス学を勉強し、会社の経営者になりたいと思っています。

「勉強でわからないことがあったら、先輩の生徒がチューターになって教えてくれるところがいいです。クラスでも皆がお互いに助け合うので、わからないことがあっても恥ずかしがることはないんだと思えるようになりました。」

成績発表

NCEAを実施するNZQAでは、すべての成績がデータベースに保管されます。成績はNZQAウェブサイトで見られるほか、印刷版を請求することもできます。

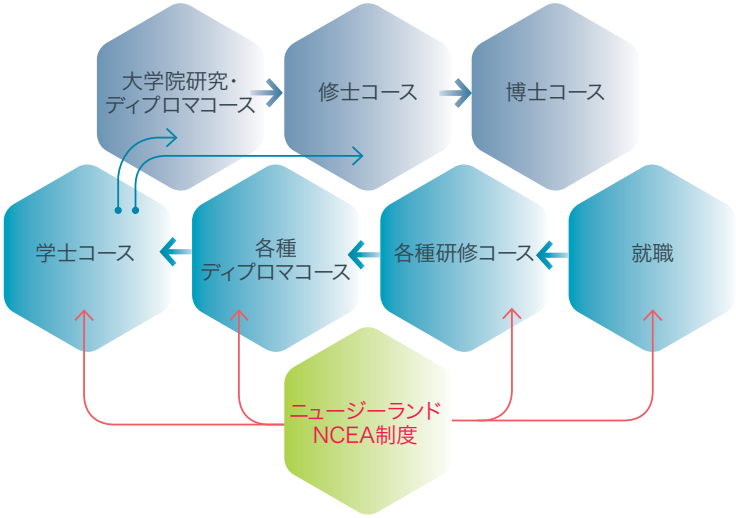
英語学習者へのサポート

英語を母語としない生徒は、学校で学習サポートが受けられます。こうした生徒のためのESOL（他言語話者のための英語教育）プログラムは、生徒の語学力を伸ばし、ニュージーランドの学校で授業に参加していく上での橋渡しとなります。

留学生の生活保障に関する服務規程

NZQAは、政府の定める「 留学生の生活保障に関する服務規程（Code of Practice for the Pastoral Care of International Students）」の実施監督機関です。この規程は各教育機関に対してニュージーランドに留学中の生徒・学生へのケアの基準を定めたものです。留学生が在籍する教育機関はどこでも、この規程に署名していなければなりません。

NCEA制度での進路図



関連情報

ニュージーランド資格庁

www.nzqa.govt.nz/ncea

NCEAなどの資格情報

教育省

www.minedu.govt.nz/nzeducation

ニュージーランドの教育制度全般

Education New Zealand

www.educationnz.govt.nz

ニュージーランド留学の広報と各国での窓口

New Zealand Educated

www.newzealandeducated.com

ニュージーランドの留学生活に関する情報とリンク集

NZQA
NEW ZEALAND QUALIFICATIONS AUTHORITY
MANA TOHU MĀTAURANGA O AOTEAROA

2014 年発行

New Zealand Government